
晩御飯は何にする？

名前無し

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

晩御飯は何にする？

【Nコード】

N0170S

【作者名】

名前無し

【あらすじ】

よくある話題をもとに、ベタベタに仕上げました。最後まで読んでいただけたら意味がわかると思います。ベタベタですw

「今日の晩御飯は何にしようか？」

彼女はそう聞いてくる

特に食べたい物はなかったから、何でもいいよと彼女に返事をした

「何でもいいが一番困るのよ」

少しむくれながら彼女は文句を言う

でも食べたい物はないから仕方がない

お腹は空いている

けれど希望はない

しいて言うなら、美味しければ何でもいい

「決まらなかつたら、晩御飯が遅くなるわ」

彼女が怒るから、仕方なく考えてみる

から揚げ？

いや、違うな

スパゲティ？

これも違う

そば？

うーむ、これもない

「早く考えてよ」

なんだよ、君は希望がないのかい？

急かす彼女に問う

「あ、貴方が食べたいものでいいわよ……
貴方の食べたい物が食べたいの！」

照れながら彼女はそう答える

その一言で、僕は愛されているんだなと嬉しくなった

ああ、照れる彼女が愛おしい

でも彼女には問題点が一つだけあるんだ

彼女の作る料理はとても……辛い

でもいいんだ

僕は愛されているし、彼女をとて愛している

そんな彼女の料理にケチなんてつけないよ

僕は甘党だから辛いのは苦手だけど、大丈夫

彼女の料理ならなんでも美味しいから

そう言おうと思ったけど、口にするのは恥ずかしい

でも、しっかりと言っべきだね

大好きな君の料理ならなんでも美味しいよと

「どうしたの？

きまっただの？」

ああ、決まったよ

彼女の目を見てしっかりと伝える

僕の気持ちを込めて、はっきりと口にする

「君の料理なら、なんでも美味しいからいくらでもたべられるよ
だから僕は君の料理ならなんでもいいんだ」

よし言えた

彼女の顔はみるみる赤く染まっていく

耳まで真っ赤だ

照れてる彼女がとても愛おしい

なによりも大切

この気持ちをはっきりと伝えた僕、男らしくないかな？

「ば、馬鹿じゃないの」

耳まで真っ赤な彼女は目を逸らしながら怒る

僕ははっきりと伝えたよ、だから君の気持ちが聞きたいな

答えはわかってるけど君の口から聞きたい

「全く………」

彼女が口を開く

あんなこと言っておいてなんだけど、凄イドキドキしてる

彼女の口から聞けると思うと落ち着かない

「あ………」

よっっ、いいー！

僕はしっかりと受け止めるから!!

「貴方が今日の晩御飯の当番なんだけど……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0170s/>

晩御飯は何にする？

2011年10月8日22時07分発行